



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 大運
コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理副本部長
四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

(氏名) 高橋 健一
(氏名) 吉野 弘一

TEL 06-6532-4101

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	5,073	15.5	84	—	91	—	57	—
22年3月期第3四半期	4,393	—	△142	—	△106	—	△45	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	0.93	—
22年3月期第3四半期	△0.78	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	4,749	1,735	36.5	27.90
22年3月期	4,563	1,675	36.7	26.94

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 1,735百万円 22年3月期 1,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,612	10.1	100	—	100	—	90	—	1.45

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 62,280,394株 22年3月期 62,280,394株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 92,869株 22年3月期 92,366株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 62,187,574株 22年3月期3Q 58,688,278株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
【第3四半期累計期間】	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成22年4月1日～平成22年12月31日)における我が国経済は、大企業を中心に業績の顕著な回復が見られたものの、中堅中小企業においては低迷から脱しきれない企業も多い状況であります。

当社は前事業年度から採算性の低い賃借施設の返還、人件費の削減による収益改善を推進し、営業収入の回復とともに、前事業年度第3四半期会計期間以降は黒字体質に変換いたしました。当第3四半期累計期間の営業収入は、前年同四半期累計期間比+680,351千円(+15.5%)の5,073,718千円となりました。

厳しい環境の中でも本業の業績は堅調に推移しております。当第3四半期累計期間で特別損失として株価の低下による投資有価証券評価損41,445千円を計上しました。当社は投資有価証券の評価方法として四半期洗替え法を採用しており、今事業年度末に期末日現在の時価で再評価いたします。

この結果、当第3四半期累計期間の営業利益は84,280千円、経常利益は91,494千円、四半期純利益は57,758千円となりました。前第3四半期累計期間と比較すると、営業利益は227,025千円の増加、経常利益は198,393千円の増加、四半期純利益は103,361千円の増加となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

流動資産は2,569,021千円となりました。前事業年度末比278,803千円(12.2%)増加しております。これは現金及び預金の増加228,770千円、立替金の増加53,168千円等によるものです。

(固定資産)

固定資産は2,168,874千円となりました。前事業年度末比88,775千円(3.9%)減少しております。これは建物(純額)の減少21,785千円、車両運搬具(純額)の減少13,232千円、投資有価証券の減少10,130千円等によるものです。

(流動負債)

流動負債は1,785,146千円となりました。前事業年度比133,146千円(6.9%)減少しております。これは未払金の減少102,794千円、営業未払金の減少31,686千円等によるものです。

(固定負債)

固定負債は1,229,495千円となりました。前事業年度末比259,553千円(26.8%)増加しております。これは長期借入金の増加224,456千円、退職給付引当金の増加51,055千円等によるものです。

(純資産)

純資産は1,735,114千円となりました。前事業年度末比59,896千円(3.6%)増加しております。これは繰越利益剰余金の増加57,758千円、その他有価証券評価差額金の増加2,155千円等によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、業績は概ね計画通りに推移しており、平成22年5月13日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①一般債権の貸倒見積残高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

③法人税等の算定方法

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ538千円、税引前四半期純利益は2,690千円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始により差入保証金より控除された金額は2,690千円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、前事業年度まで3期連続営業損失を計上しておりました。四半期会計期間での推移では、前事業年度第3四半期会計期間以降は営業利益に転換しており、当第3四半期会計期間においても営業利益を計上しております。当事業年度においても引き続き営業推進、経費削減に注力し、営業利益を計上できる見通しであり、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は解消され、存在しておりません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,304,348	1,075,577
受取手形	9,126	2,741
営業未収入金	838,622	875,320
立替金	332,353	279,184
未収還付法人税等	7,976	—
その他	90,318	72,367
貸倒引当金	△13,724	△14,975
流動資産合計	2,569,021	2,290,217
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	237,798	259,584
構築物(純額)	3,160	3,434
機械及び装置(純額)	37,743	46,660
車両運搬具(純額)	92,928	106,161
工具、器具及び備品(純額)	14,630	13,638
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	38,014	39,206
有形固定資産合計	1,000,459	1,044,868
無形固定資産		
のれん	453,879	474,827
その他	25,955	33,565
無形固定資産合計	479,834	508,393
投資その他の資産		
投資有価証券	535,607	545,738
差入保証金	93,035	88,693
その他	380,897	391,321
貸倒引当金	△320,959	△321,364
投資その他の資産合計	688,580	704,388
固定資産合計	2,168,874	2,257,650
繰延資産		
株式交付費	11,860	15,585
繰延資産合計	11,860	15,585
資産合計	4,749,756	4,563,453

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	64,413	73,471
営業未払金	562,051	593,737
短期借入金	495,500	489,000
1年内返済予定の長期借入金	461,281	445,781
未払金	67,373	170,167
未払法人税等	14,333	30,471
その他	120,194	115,664
流動負債合計	1,785,146	1,918,293
固定負債		
長期借入金	931,828	707,371
退職給付引当金	189,242	138,187
その他	108,425	124,383
固定負債合計	1,229,495	969,942
負債合計	3,014,642	2,888,235
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	314,304	314,304
その他資本剰余金	433,706	433,800
資本剰余金合計	748,010	748,104
利益剰余金		
利益準備金	5,856	5,856
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,251,250	△1,309,009
利益剰余金合計	△1,245,394	△1,303,153
自己株式	△10,484	△10,560
株主資本合計	1,886,530	1,828,789
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△151,416	△153,571
評価・換算差額等合計	△151,416	△153,571
純資産合計	1,735,114	1,675,217
負債純資産合計	4,749,756	4,563,453

(2) 四半期損益計算書
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業収入	4,393,367	5,073,718
営業原価	4,203,918	4,698,289
営業総利益	189,448	375,429
販売費及び一般管理費	332,193	291,148
営業利益又は営業損失(△)	△142,744	84,280
営業外収益		
受取利息	660	386
受取配当金	9,598	9,898
受取保険料	—	6,952
受取補償金	38,628	—
雑収入	24,705	23,948
営業外収益合計	73,592	41,186
営業外費用		
支払利息	31,314	31,448
貸倒引当金繰入額	—	738
雑損失	6,432	1,784
営業外費用合計	37,746	33,972
経常利益又は経常損失(△)	△106,898	91,494
特別利益		
固定資産売却益	1,363	131
投資有価証券売却益	85,832	1,106
貸倒引当金戻入額	528	—
賞与引当金戻入額	19,138	8,678
その他	2,009	—
特別利益合計	108,873	9,915
特別損失		
固定資産売却損	10	—
固定資産除却損	1,332	326
投資有価証券売却損	1,401	—
投資有価証券評価損	36,882	41,445
貸倒引当金繰入額	3,131	—
過年度事業所税	—	6,953
過年度事業税	—	9,399
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2,152
その他	554	909
特別損失合計	43,311	61,186
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△41,337	40,223
法人税、住民税及び事業税	4,264	5,207
法人税等還付税額	—	△22,742
法人税等合計	4,264	△17,535
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△45,602	57,758

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。